

## 第7回まちづくり検討委員会議事録

と き：平成22年1月15日（金）13：30～14：40

と ころ：市役所2階第3会議室

### ○ 市民協働推進課長

あいさつ

### ○ 会 長

いよいよ取りまとめの段階に入る。課長からも話があったように市報の1月1日号で様々な視点・角度から鳥栖のまちの今後を特集した。ボランティアやNPOなど志縁型組織の特集も同時に組んでいる。

先日12日に鳥栖市の市民活動支援補助金事業の活動報告会に出席して話を伺った。審査に携わり、想像以上にしっかりした取り組みができていたことを実感した。前回この議論でも出てきたが、地縁型と志縁型が結びつくと大変大きな原動力となるであろうから、何か機会があればそちら側の動きにも注視してほしい。来年度に向けてこの補助事業もまたプレゼンテーションを行うだろうから是非見ていただいて、お互いの情報や知識を持ってもらいたい。今日の議論もよろしく願います。

本日は、前回までに論点整理したものを確認しながら、2月8日に行う提言の案について議論をしていきたいと考えている。まず論点整理から確認していきたい。

### 【事務局】

資料1 説明

### ○ 会 長

前回のものから議論をして修正をかけたり、空欄だったところを埋めたりしたわけだが、資料1の論点整理を見て、「何かこれ違うんじゃないか？」などお気づきの点があれば、お出しください。

### ○ 委 員

別に意見はない。これで結構だ。

### ○ 会 長

では論点整理のほうはこれで確定させていただく。

それでは資料2の提言案について、事務局から説明をお願いします。

### 【事務局】

資料2 説明

### ○ 会 長

論点整理で議論した中身を項目別に大きい括りでつなぎ合わせて文章化していったものであり、また、それぞれの論点のレベルに合わせて目的のところに取り込まれていたり、留意点のところに取り込まれているものがあったり、様々なところにはめこんでいったというような中身になっていると思う。

細かい「てにをは」の部分も含めて、お気づきの点やご提案があればご意見をいただきたい。頭から順番にご意見をいただくようにしよう。

1 ページから 2 ページに行こう。

○ 委 員

これでいい。

○ 会 長

細かいことだが、「委員長」「副委員長」は「会長」「副会長」に直す。整合性を持たせよう。

2 ページの「3」で事務局の説明そのままがいいと思ったのが「果たして鳥栖市において新たな自治組織が必要なのかという議論に本委員会の半分程度の時間を費やしました」というところに「根本的な議論に時間を費やした」というように「根本的な」を加えてほしいと思った。

1 ページ 2 ページについてはよろしいか。

○ 委 員

異議なし。

○ 会 長

では、中身に行こう。提言の基本的事項にあたる 3 ページから 5 ページの間でご意見やご指摘等があればいただきたい。

○ 委 員

いいのではないか。立派なものだと思う。

○ 会 長

かなり議論を重ねてきたので、中身で大きく云々ということはないと思うが、もっと強く言おうとかガツンといこうというところがあれば・・・。

○ 委 員

一回読んで内容がよく分かったのでよいのではないか。よくできていると思った。

○ 会 長

なるほど。皆さんいかがでしょうか。全体の肝の部分になる。ここにかなり議論の時間を費やした。

○ 委 員

いいと思う。ただ言うなら、4 ページの「③」の「地域のつながりを強化して、モレを少なくする」よりも、ガツンといくなら「モレをなくす」と強めにしたほうがいいのではないか。「④」は「知らないということを打破する」となっている。打ち破っていくというのだから・・・。どうだろうか。

○ 会 長

いかがか。なくすんだと強く我々が思っていこうということか。どうしても「多様」なので、なくそうとまでは行かなくても食い止めようぐらいのつもりで・・・。

○ 委 員

100パーセントは有り得ないので、この程度の表現でよいかと思う。

○ 委 員

いいでしょう。

○ 会 長

では、進める。6ページから7ページいかがか。小学校区のところと拠点のところ。これもずいぶん議論になった。

○ 委 員

弥生が丘の小学校の取り扱いだが、この問題は会議の中では、「組織のあり方を検討しておく必要がある」ということで、これでいいと思う。田代には田代の状況がある。

○ 会 長

我々も気になっているというメッセージでもあるし、これは注記しておくべきだろうと思った。

○ 委 員

鳥栖市が今後考えてもらうことも入っているし、これは必ず出てくることなので。

○ 会 長

6ページ7ページのところはいかがか。

○ 委 員（複数）

いいのではないか。

○ 会 長

では次の8ページ9ページ構成団体、組織体制のところ。特に体制のところは細かくご提案をいただいた。

○ 委 員

9ページの組織体制、上から5行目、「その処遇は手厚くすること」は、何か恥ずかしいような気がする。本音はそうなのだが、バランスのことも考えると、活字にした時に何かクスクスと笑いが出るような・・・。

○ 委 員

これは、事務局長についてのことだろう？手当が2万円と議事録に出てきたが、確かに事務局長は大変な仕事だから、2万円では話にならないというのが前回の会議でのみなさんの意見なので、これでいいのでは。

○ 会 長

確にお手盛りのイメージにはしたくないという気がしないでもない。むしろ論点整理の5ページの15に書いてある「他の自治体の事例よりも処遇を手厚くすること」のほうがまだいいかもしれない。「手厚く」の程度問題があるので、他よりは良くしてやってよ、と。

○ 委 員

実際ここは他よりもいい。「もっと」か、と思われるのではと思った。

○ 会 長

少なくともあの時の私たちの議論は、宗像の事例を見ながら、「あれはさすがにないでしょう」という意味合いだった。現状よりもさらに、というよりもそこと比較して「手厚く」ということ

だった。

○ 委 員

こういう文書の中に「手厚く」という言葉がどうなのか。「処遇待遇を考える」など適切な言葉が入るとそのまま通じるのかな。

○ 委 員

今のところ、どれぐらいが手厚くてどれぐらいが手薄いか分かりませんよということ。これはとにかく手厚くしないと人はいませんよ、ということを伝えるための表現だと私は思うのでこれでいいのでは？

○ 会 長

玉虫色的な表現を使えば、「十分に配慮することを求めます」とか・・・。

○ 委 員

話し合う中で皆さんそういう意見だった。手厚く手厚くと。提案書だからこれでいい。

○ 委 員

提案を引っ込める。

○ 会 長

了解。「提案」ということで、このままいく。

では10ページ11ページに行く。鳥栖市の支援策のところ。補助金と業務委託と職員派遣と窓口一本化の4点がある。補助金と業務委託のところで、現在やっているものとのバランスをうまく取るということが、心配していたところだった。

○ 委 員

異議なし。

○ 会 長

では、最後12ページは、スケジュール。あとは、検討経過と我々の名簿だがよろしいか。

○ 委 員

ちょっと気になったことがある。新しい組織のなかで新しく会長や事務局長をつくることになる。既存の組織の方が兼務というようなことも起こってくるのではないかと思う。その時にさっきの「処遇を手厚く」も関係してくると思うが、既存のところでもいただいていた方が兼務になった場合は、どちらか片方消すとか限度を決めるとかそういうこともあると思う。その辺りはどうなのだろう。今まであった組織を全部壊してゼロにするわけではない。今まであった組織の方が兼務することも十分考えられる。両方から手当をいただくのか、片方にするのか、限度を設けてここまでとか。予算の肥大化は意味がない。そういうことは、提言の中に盛り込むことかどうかは分からないが、読みながらそこだけが気になった。

○ 会 長

特定の人に役割が集中しないように配慮していただきたいということか。

○ 委 員

組織を作るときに出てくる問題。提言としては組織までには踏み込めないと思う。

○ 委 員

あまり小さいことまで決めるときりがない。

○ 委 員

そこは組織委員会が考えればいいのでは。したいという人が中にもいるかもしれない。

○ 委 員

事務局長と区長さん兼務は大変と思う。避けたいと思う。

○ 委 員

組織を作るときの話合いであってそこまで踏み込まなくてもいいのでは。

○ 委 員

基本的なことだけ作って中身についてはある程度自治組織の中でやっていく。今度は、よその動向を知っていく。連絡は十分とっていける。

○ 委 員

具体的に出さなければ中身は出てこないだろうから、この提言書の中で出すのは無理だろう。

○ 会 長

今ここで話題に出れば、議事録に残るので、その段階でそういえばと引っ張り出せばいいのでは。兼務や一極集中になることは避けたほうがいいということで、提言にまでは盛り込めないが、議事録に載せることにしよう。

ほかに全体通してありますか。

○ 委 員

いいと思う。上手にまとめている。

○ 会 長

では、資料2に今いただいた意見を反映し、後ほど精査する中で「てにをは」の部分の修正は事務局に任せる。

今確認いただいた提言案をもとに2月8日に提言という形で執行部にお渡しするというのでよろしいか。

○ 委 員（複数）

はい。

○ 会 長

ありがとうございました。何とかここまでたどり着いた。ご協力に感謝する。本日準備していた議題はここまでなので、まちづくり検討委員会としては、これが最終回。今申し上げたように2月8日の段取りについて、説明をお願いします。

#### 【事務局】

2月8日の段取りについて説明

○ 会 長

提言書は形としてできあがるので、それをセレモニー的に出して、ザックリと中身を解説するが、大事なのは、我々一人ひとりが取り組んでいってどんな気持ちだったかとか、これに落とし込んでいった期待感とか逆に心配していることとか、行政に対して「しっかりやれよ」というメッセージも込めて担当の職員にお声をかけてほしいとお願いをした。

単なるセレモニーではなく先方にしっかり渡すということ。感想を述べるのも十分と思う。

○ 委 員

感想しかない。陳情はなれているが・・・。

○ 会 長

では、今日ご欠席の方には、その旨伝えていただいて当日お迎えしたい。リハーサルではないがここまでの感想をお願いしたい。

○ 委 員

最初は本当に何で？という思いだったのと、出席して欲しいということで、会を代表して何かお役に立てればと参加させていただいたが、参加させていただいて本当にこれからの10年後の社会がどうなっていくかを見据えていかないと自分達が民生委員をしている関係上、安心して安全なまちづくりに協力していくその元になっていくんだと感じた。たくさんの人を発掘して、まちづくりに加えていくという意識を持たなければならないということをこの何ヶ月間でようやく私がわかったので、一般の人に説明するところでは、もっと分かってもらえるようにしなければならないと思う。参加させていただいて会長とご縁ができて今後の私たちにはよかったと、感謝している。

○ 委 員

本来、私は委員にならなくてよかった。市老連の会長になるはずだったが、地域で麓地区に委員がいなくて具合が悪いということで拝命したが、ありがたかったと思っている。

老人問題については、考えていなかった。ところが、この委員会でいろいろな話が出てきて老人会を活性化するためにはどうしたらいいのかなど私なりに考えた。よその状況を聞いてみたり、勉強もしてみた。(委員に) なっていなかったら、のほほおんとして何年かして会長を辞めていただろう。なんとなくやる気が沸いてきた。老人会を活性化することが鳥栖市の発展になるなら、そのために一生懸命尽くさないといけないと思った。大変勉強になった。ありがとうございました。

○ 委 員

私も最初に来たときになぜ私がここにいるの、と申し上げた。消防団は別個の団体という意識を持っていた。再三申し上げた火消し屋であるということ。参加させていただいて皆さんの意見も聞かせていただいて、自分も色々な意見を言わせていただいた。すばらしい中に入れていただいたなあと思う。新しい組織ができて消防団がどういう形で参加するか分からないが、前向きに参加させていただきたいと思う。私の性格上流れる前は意見を色々言うが、流れ出したら、スーッと流れに乗るタイプなので、流れに乗っていきたいと思う。

ただ今思っているのは、この組織に消防団が入ったら自主防災を率先して各町につくっていく、そういう指導をやっていききたい。色々身勝手な意見申し上げて失礼いたしました。ありがとうございました。

○ 委 員

P T Aの方からということで参加したが、P T A組織自体が役員のみ手がないという大きな問題を抱えてここに来て、最初に協働の話聞いたとき、こんな中に入れるだろうかと逆にシャッターを下ろしたほうがいいのではないかとという状態で参加をさせていただいた。

会を重ねるごとに協働のまちづくりに携わっていくことによって、PTA自体も活性化できればいいんじゃないかなあと、何か力が発揮できる場があればいいなと、それぞれに引っ張っていただいてやっていけたらいいと思った。私自身も来年度を最後にPTAを引退する身で、子どもがいなければPTAにも参加できなくなるが、違う形で皆様方とお会いできればなあと思う。ありがとうございました。

#### ○ 委 員

最初のときは、何で私がこんなところにいるのかなあと思った。それと同時に婦人会が3団体と少なくなり、婦人会が必要なのかなあと第一に思った。この会議と婦人会の行事が重なって3回くらいしか参加できなかった。2月8日も行事が入っているが何とか都合をつけて出席したいと思うが、婦人会があること自体を知らない人がいたことが第一のショックだった。婦人会が絶対的に大事と思って私は嫁に来て入ったし、色々な役をさせてもらって勉強になった。また、こういう席に私が出席できたこと本当に感謝している。ありがとうございました。

#### ○ 委 員

最初びっくりしたのは、区長会の中で会長がいらっしゃるのに何で同じ区長会の私も、という気持ちがあった。区長会の中でも分からない団体が結構あり、色々な団体の話を聞き、自分自身の糧になっているんじゃないかと思う。これを作り上げるのはまた大変な問題があり、果たして私にできるか心配な面も持っている。

#### ○ 委 員

何人かの人が申されたが、最初に発言したのが、何で私がここにいるのかということだった。まちづくり委員会ということで、西日本新聞に掲載されているまちづくりの記事を読んで勉強しなくてはと思ったが、話がコミュニティのほうに行ったので、全く場違いなところに来たのではと思った。

福祉協議会の代表で来ておきながら福祉に関しての発言をしていないことを反省している。こういう会に出席させていただいて自分自身のためになった。今後のコーディネーターの活動に役立てていきたい。ありがとうございました。

#### ○ 委 員

市民協働から最初に話が来たときに「もう、会長のところは立ち上げてあるでしょう」とその辺りから話をリードしていただきたいと、まるで私がプロみたいに言われたが、今は不安で一杯。早速来月から説明会があるようなので、メンバーとうまくやっていきたいと思う。

それとこの会議で一番参考になったのが会長の司会のやり方。私もいくつかの会を持たせていただいているが、やはり人の意見を聞くそれが一番大事だなあとと思うし、それをまとめるという会議の仕方が私には大変参考になったし、やはり専門家だなあと考えた。

この組織を立ち上げるには、聞き上手になってぶれのない組織作りをやってみたいと思った。半年色々ありがとうございました。

#### ○ 会 長

はい、では最後に一言申し上げる。皆様には、多大なるご協力いただいたことを心から感謝申し上げます。それこそ、私は、唯一鳥栖市民じゃない立場で皆様とどのようにこのチームみたいな形を作って議論ができるかと毎回ハラハラドキドキしながら向き合っていたつもりだが、結果

的に良かったと考えている。また、先程どうして私はここにいるのだろうとおっしゃっていたが、私は今思うに、いるべくしていらっしゃったのだろうと思う。そこにいてくれたからこそ、この議論が成り立った。これは何事にも替え難いことだったと思っている。

また、お互いそれぞれ違いがあつたり大変な状況がある中で、単に戦わずだけでなく聞き合うという状況がとても良かったなあと思う。

ところで最近感心した話で、「聴」という字に送り仮名の「す」を続けて（聴す）何と読むかという、「ゆるす」と読むそう。相手を許すということ。聴き合うということは、お互いのことを許しあうということ。それこそ昔は庶民がお殿様に物言うということは、聞いてやるということで、許すという意味合いと同じ。そしてこの字のつくりはそのまま「みみへん」が「行にんべん」に変わると「徳」になる。聴く人は徳のある人だ、そんな意味合いを持っているそう。

最初の会議でおのおのの地域おのおのの課題があるだろうが、この会議に限っては、鳥栖市全体のことを考えていただきたいとお願いした。それが見事にできたかなあと思う。大変だと思うが、自分自身自戒を込めて言うのは、焦らず、慌てず、諦めず今からの道のりをみんなでいっていただければありがたい。皆様のご協力に感謝する。ありがとうございました。

今回の会議はここまで、次回2月8日に会いましょう。そのときは、一言感想を皆様の前でいただきたいと思うので、準備をお願いします。

(終了 14 : 40)